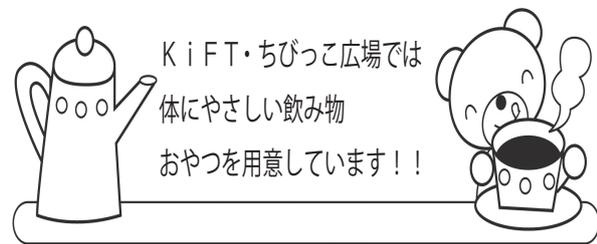


応援します。なかよし親子

Come Come



2021年9月号

幼い子の「読んで」は「遊んで」「話しかけて」のサインです！

☆大切なのは「ママと絵本で遊ぶのは楽しい」という気持ち

子どもが文字を認識するのは4～5歳くらいから。それより幼いときは、「自分の方を向いてほしい」というコミュニケーションを求めているサインです。ですから、「順を追って読む」「最後まで読む」にとらわれなくて好きなページを見ながら「おいしそうだね」「これは何？」など、絵本を使って会話を楽しみましょう。家庭での読み聞かせは、ママと子どもが楽しい時間を過ごすことが大切。絵本を通しての楽しい経験を積み重ねて、ようやく「お話を聞くのは楽しい」と思えるようになります。

0, 1, 2歳なら、身近なテーマの「生活絵本」がおすすめ。

3, 4, 5歳は、生活絵本をたっぷり楽しんだ後、耳から聞く言葉や音のリズムと、目から見る絵本の内容が次第に一致していく時期です。子どもが「読んで」と持ってきた本は、何度でも繰り返し読んであげるのがいいでしょう。

また、読み聞かせは、ママのお膝の上でとよく言われますが、「三角形」のポジションで！がおすすめです。なぜなら、①わが子の表情がよく見える ②子どももママの顔をよく見ることが出来るからです。

絵本から広がるあそび

「もこもこ」作・谷川俊太郎 絵・元永定正 : 文研出版

「もこもこ」「によきによき」「つん」「ぎらぎら」つながりがあるようで、ないような…。

子どもだからキャッチできる、言葉と形のおもしろさです。擬音語の響きを届けるように、少し大げさなくらい表情豊かな声で読みたい絵本です。

「いろいろごはん」山岡ひかる : くもん出版

ごはんがいろいろな姿に変身します。

のりで巻いたら、ころりんおにぎり！くるりんこすればのり巻きに！

お茶漬けやチャーハン、おすしにもなります。絵がとってもかわいくて親しみやすくごはんがもっと好きになりそうな一冊です (*^_^*)



ゆうゆうK i F T (児童クラブ解放日)のお知らせ

9月の解放日…17日(金) 10:00～11:30 ペーパークイリング教室

11月の解放日…19日(金) 10:00～11:30 手作りおやつ教室

興味のある方はスタッフまで(*^_^*)

